

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC50)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年12月28日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
増毛 (18.0)	12/22	0	8.9	33.74	0	0	0	0
		10	9.0	33.80	0	0	0	0
		20	9.2	33.85	0	0	0	0
		30	9.3	33.87	0	0	0	0

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK35)

(函館水試担当地区)

2015年12月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 20.0	12/9	0	11.0	33.83	0	0	0	0	0	
		10	11.0	33.84	0	0	0	0	0	
		20	10.8	33.79	0	0	0	0	0	
		30	10.6	33.77	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 11.5	12/14	0	9.5	31.49	0	0	0	0	0	
		5	9.8	33.57	0	0	0	0	0	
		10	9.8	33.62	0	0	0	0	0	
		15	9.9	33.65	0	0	0	0	0	
		20	10.1	33.69	0	0	0	0	0	
	25	10.1	33.69	0	0	0	0	0		
八雲 噴火湾西部 8.0	12/14	0	8.2	32.36	0	0	0	0	0	
		5	9.3	33.35	0	0	0	0	0	
		10	9.4	33.45	0	0	0	0	0	
		15	9.5	33.48	0	0	0	0	0	
		20	9.5	33.49	0	0	0	0	0	
	25	9.4	33.49	0	0	0	0	0		
	30	8.9	33.43	0	0	0	0	0		
知内 津軽海峡 11.0	12/7	0	12.5	33.68	0	0	0	0	0	
		10	12.5	33.74	0	0	0	0	0	
		20	12.5	33.73	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プトコニオラククス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

12月上旬の水温は、太平洋中部では10.6~11.0°C、津軽海峡では12.5°Cです。

12月中旬の水温は、噴火湾東部では9.5~10.1°C、噴火湾西部では8.2~9.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC49)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年12月15日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (8.5)	12/14	0	4.4	31.94	0	0	20	0
		5	4.4	31.94	0	0	10	0
		10	4.4	31.94	0	0	20	0
		15	4.4	31.94	0	0	0	0

\*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、標津でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC48)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年12月14日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
サロマ湖 (4.5)	12/7	0	3.0	31.29	0	20	40	0
		3	3.0	31.31	0	0	10	0
		6	3.0	31.30	0	0	20	0
		9	3.0	31.31	0	0	10	0
		12	3.1	31.33	0	0	0	0
		15	3.1	31.32	0	0	10	0
厚岸 (2.4)	12/10	0	5.5	30.82	0	0	0	0
		5	6.5	32.83	0	0	0	0
		10	6.9	32.98	0	0	0	0
		13	6.9	32.98	0	0	0	0

\*At = Alexandrium tamarense アレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でデイノフィシス・フォルティとアキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC47)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年12月8日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (8.0)	11/30	0	12.7	33.18	0	0	0	0	Dru
		10	13.4	33.64	0	0	0	0	
		20	13.4	33.65	0	0	0	10	
		30	13.3	33.67	0	0	0	0	
増毛 (13.0)	12/2	0	9.8	33.91	0	0	0	0	
		10	9.8	33.95	0	0	20	0	
		20	9.8	33.94	0	0	0	0	
		30	9.8	33.94	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、江差でデイノフィシス・ルブラが、増毛でアキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK34)

(函館水試担当地区)

2015年12月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲	11/12	0	11.7	33.32	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	11.7	33.36	0	0	0	0	20	Dt20
12.0		10	11.7	33.38	0	0	0	0	0	
		15	11.7	33.40	0	0	0	0	10	Dt10
		20	11.8	33.41	0	0	0	0	0	
		25	11.8	33.43	0	0	0	0	0	
		30	11.8	33.46	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プトコニオラクス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロウンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

11月中旬の水温は、噴火湾西部では11.7~11.8°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC46)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年11月24日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 —	11/12	0	10.1	33.99	0	0	0	0	Dm
		10	10.1	33.99	0	0	0	10	
		15	10.1	33.99	0	0	0	0	
		20	10.1	33.99	0	0	0	0	
標津 (8.5)	11/18	0	10.4	33.32	0	0	90	0	
		5	10.4	33.34	0	0	50	0	
		10	10.4	33.35	0	0	50	0	
		15	10.4	33.36	0	0	20	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、標津でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。  
その他、デイノフィシス・ミトラが猿払で少し出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC45)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年11月18日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (7.6)	11/17	0	7.13	31.55	0	130	360	110	Di
		10	7.35	32.38	0	40	40	30	Di
サロマ湖 (5.5)	11/16	0	7.1	31.93	0	0	50	10	Dn
		3	7.1	31.93	0	10	100	0	
		6	7.3	32.32	0	0	90	0	
		9	7.8	32.36	0	0	10	10	Di
		12	8.6	33.10	0	0	0	0	
		15	8.9	32.99	0	0	0	0	
常呂 (7.0)	11/17	0	5.9	31.51	0	0	30	0	
		10	5.7	31.83	0	0	10	0	
		20	5.9	31.89	0	0	0	0	
		30	6.0	32.03	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコノオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、インファンディブラおよびノルウェジカが出現していま

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK33)

(函館水試担当地区)

2015年11月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 10.0	11/9	0	14.7	33.87	0	0	0	0	0	Di10
		10	14.1	33.79	0	0	0	0	10	
		20	14.2	33.90	0	0	0	0	0	
		30	13.2	33.75	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 13.5	11/4	0	12.2	33.41	0	0	0	0	0	Dt10 Dt40
		5	12.2	33.41	0	0	0	0	10	
		10	12.4	33.58	0	0	0	0	40	
		15	12.6	33.63	0	0	0	0	0	
		20	12.4	33.64	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 15.0	11/12	0	12.2	33.58	0	0	0	0	0	
		10	12.3	33.60	0	0	0	0	0	
		20	12.3	33.62	0	0	0	0	0	
		30	12.2	33.62	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 9.0	11/11	0	15.1	33.45	0	0	0	0	0	
		10	15.2	33.47	0	0	0	0	0	
		20	15.4	33.66	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロウンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現していますが、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

11月上旬の水温は、太平洋中部では13.2~14.7°C、噴火湾東部では12.2~12.6°C、11月中旬の水温は、噴火湾西部では12.2~12.3°C、津軽海峡では15.1~15.4°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC44)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年11月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.0)	11/11	0	9.7	33.03	0	0	10	0	Dro10
		5	9.8	33.03	0	0	10	10	
		10	9.8	33.05	0	0	10	0	
		13	9.8	33.05	0	0	10	0	
能取湖 (10.5)	11/5	0	9.4	32.77	0	70	10	0	Di
		10	9.1	32.81	0	180	110	60	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、厚岸でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖でデイノフィシス・フォルティが多く出現しています。  
その他、デイノフィシス・アキュミナータ、ロツンダータ、インファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年11月2日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (12.0)	10/23	0	16.3	33.68	0	0	0	0	Dro
		10	16.3	33.68	0	0	0	0	
		20	15.8	33.77	0	0	0	10	
		30	15.6	33.81	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ロツンダータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK32)

(函館水試担当地区)

2015年10月27日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 10.5	10/19	0	13.7	32.91	0	0	0	0	0	
		5	13.8	33.04	0	0	0	0	0	
		10	13.3	33.15	0	0	0	0	20	Dt20
		15	11.3	33.29	0	0	0	0	10	Dt10
		20	11.0	33.37	0	0	0	0	0	
		25	10.9	33.40	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 11.5	10/19	0	15.4	33.63	0	0	0	10	0	
		10	15.3	33.64	0	0	0	0	0	
		20	15.1	33.65	0	0	0	0	20	Dt20
		30	9.8	33.31	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 11.5	10/16	0	15.8	33.75	0	0	0	0	0	
		5	15.7	33.75	0	0	0	0	0	
		10	15.6	33.76	0	0	0	0	10	Dc10
		15	15.6	33.77	0	0	0	0	0	
		20	15.5	33.76	0	0	0	0	0	
		25	13.4	33.80	0	0	0	0	0	
		30	10.9	33.82	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 11.0	10/14	0	15.7	33.92	0	0	0	0	10	Di10
		10	15.7	33.93	0	0	0	0	0	
		20	15.5	34.02	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プトコニオラクウス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

10月中旬の水温は、噴火湾西部では9.8～15.4°C、噴火湾湾口部では9.8～15.8°C、津軽海峡では15.5～15.7°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年10月23日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
サロマ湖	10/19	0	13.5	32.30	0	20	0	0	
		3	13.5	32.43	0	10	0	0	
		6	13.5	32.46	0	0	30	10	Dm
		9	13.6	32.62	0	10	10	0	
		12	13.7	32.77	0	0	0	20	Di
		15	13.7	32.84	0	0	10	10	Di
常呂 (7.0)	10/20	0	11.3	33.01	0	0	0	0	
		10	10.8	33.04	0	0	0	0	
		20	10.8	33.07	0	0	20	0	
		30	11.5	33.35	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、インファンディブラおよびミトラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年10月14日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 —	10/5	0	17.5	33.86	0	0	0	10	Dro10
		10	17.5	33.91	0	0	0	10	Dro10
		15	17.5	33.91	0	0	0	0	
		20	17.5	33.93	0	0	0	0	
厚岸 (2.3)	10/6	0	14.5	31.97	10	0	30	10	Di10
		5	13.8	32.95	0	0	30	10	Di10
		10	12.5	33.12	10	0	0	10	Di10
		13	11.1	33.27	0	0	0	0	
標津 (5.0)	10/13	0	14.8	33.10	0	0	0	20	Dro20
		5	14.9	33.29	0	10	0	0	
		10	15.0	33.45	0	0	0	20	Dro10, Dm10
		15	15.0	33.49	0	0	0	30	Dro20, Dm10
能取湖 (6.3)	10/7	0	16.1	33.47	0	40	20	30	Din20, Dm10
		10	15.8	33.40	0	210	30	80	Di80

\*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、厚岸でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖でデイノフィシス・フォルティがやや多く出現しています。  
その他、デイノフィシス・アキュミナータ、ロツンダータ、インファンティブラ、ミトラが少し出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK31)

(函館水試担当地区)

2015年10月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 3.5	10/5	0	17.0	33.38	0	0	0	0	50	Dt10, Dc40
		10	16.8	33.70	0	0	0	0	30	Dt30
		20	14.2	33.83	0	0	0	0	0	
		30	12.7	33.93	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 10.5	10/5	0	17.3	32.63	0	0	0	0	20	Dt20
		5	17.3	32.68	0	0	0	0	0	
		10	17.2	33.00	0	0	0	0	40	Dt40
		15	16.9	33.09	0	0	0	0	10	Dt10
		20	16.2	33.59	0	0	0	0	0	
		25	15.6	33.79	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサントリウム =旧名 プトコニオラクス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロウンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

10月上旬の水温は、太平洋中部では12.7~17.0°C、噴火湾東部では15.6~17.3°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK30)

(函館水試担当地区)

2015年9月30日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 5.0	9/14	0	20.0	29.47	0	0	0	0	40	Dt30, Dro10
		5	20.2	31.95	0	0	0	0	240	Dt230, Dro10
		10	19.8	32.26	0	0	0	0	30	Dt30
		15	19.5	32.50	0	0	0	0	10	Dt10
		20	19.1	32.66	0	0	0	0	0	
		25	18.9	32.72	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 15.0	9/17	0	20.2	31.73	0	0	0	0	0	
		10	20.2	32.31	0	0	0	0	10	Dc10
		20	19.9	33.23	0	0	0	0	0	
		30	17.9	33.09	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 10.0	9/15	0	20.0	32.29	0	0	0	0	60	Dt50, Dm10
		5	19.9	32.39	0	0	0	10	100	Dt100
		10	19.8	32.61	0	0	0	0	200	Dt200
		15	19.1	32.86	0	0	0	0	90	Dt90
		20	19.6	33.27	0	0	0	0	90	Dt90
		25	19.7	33.33	0	0	0	0	140	Dt140
		30	18.9	33.22	0	0	0	0	30	Dt30
知内 津軽海峡 10.0	9/17	0	21.2	33.66	0	0	0	0	0	
		10	20.5	33.87	0	0	0	0	0	
		20	19.2	34.01	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

9月中旬の水温は、噴火湾西部では17.9~20.2°C、噴火湾湾口部では13.7~20.0°C、津軽海峡では19.2~21.2°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC40)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年9月24日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (16.0)	9/15	0	21.7	33.38	0	0	0	0	
		10	21.5	33.86	0	0	0	10	Dru
		20	21.3	33.97	0	0	0	0	
		30	19.4	34.09	0	0	0	10	Di
浜益 (4.5)	9/14	0	21.0	31.06	0	0	0	0	
		10	21.1	33.19	0	0	0	0	
		20	21.4	33.67	0	0	0	0	
		30	21.0	33.87	0	0	0	0	
増毛 (9.0)	9/16	0	21.1	33.99	0	0	0	0	
		10	21.1	33.97	0	0	0	0	
		20	21.1	33.97	0	0	0	0	
		30	21.1	33.97	0	0	0	0	
標津 (7.0)	9/18	0	17.6	32.83	0	0	30	0	
		5	17.6	32.85	0	0	40	20	Dru,Di
		10	17.5	32.86	0	0	20	10	Di
		15	17.5	32.88	0	30	40	10	Di

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、標津でデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータなどが少し出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年9月17日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Aa	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	9/8	0	19.9	33.78	0		0	0	20	Dro20
		10	19.3	33.83	0		0	0	100	Dro40, Dm60
		15	19.2	33.85	0		0	0	30	Dro30
		20	19.2	33.85	0		0	0	40	Dro20, Dm20
サロマ湖 (5.8)	9/14	0	18.8	33.20	0	Aa120	20	0	0	
		3	18.8	32.59	0		10	0	0	
		6	18.7	32.59	0		10	0	0	
		9	18.8	32.87	0		60	0	0	
		12	17.9	33.20	0		0	0	0	
		15	17.6	33.22	0		0	0	0	
常呂 (5.0)	9/14	0	17.3	33.16	0		0	0	20	Dro10, Dm10
		10	17.1	33.60	0		0	0	0	
		20	16.8	33.79	0		10	0	10	Dro10
		30	16.7	33.77	0		0	10	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

### コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ロツンダータおよびミトラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK29)

(函館水試担当地区)

2015年9月11日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田	9/7	0	20.8	31.05	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	20.4	32.52	0	0	0	0	0	
15.0		10	19.3	32.69	0	0	0	0	40	Dt40
		15	17.7	32.95	0	0	0	0	0	
		20	14.9	33.10	0	0	0	0	0	
		25	13.5	33.20	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサントリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。

噴火湾東部の9月上旬の水温は、13.5~20.8°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年9月9日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
能取湖 (3.5)	9/7	0	19.9	32.98	0	200	50	0	
		10	19.1	33.45	0	330	40	50	
厚岸 (3.5)	9/7	0	17.8	31.97	0	60	320	10	
		5	17.4	32.09	0	40	430	80	
		10	15.3	32.75	0	80	330	60	
		13	14.7	32.83	0	20	20	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖でデイノフィシス・フォルティが多く出現しています。  
 厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK28)

(函館水試担当地区)

2015年9月9日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	9/4	0	20.5	33.33	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	20.2	33.47	0	0	0	0	0	
14.0		20	19.5	33.67	0	0	0	0	70	Dt70
		30	15.4	33.81	0	0	0	0	20	Dt20
八雲	9/1	0	22.0	31.78	0	0	0	0	140	Dt120, Dro20
噴火湾西部		5	21.2	31.79	0	0	0	0	20	Dt20
8.0		10	21.0	31.89	0	0	0	0	50	Dm40, Dro10
		15	19.2	32.34	0	0	0	0	10	Dt10
		20	20.6	33.25	0	0	0	0	0	
		25	18.4	32.84	0	0	0	0	0	
		30	17.0	32.62	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

9月上旬の水温は、太平洋中部では15.4~20.5°C、噴火湾西部では17.0~22.0°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC37)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年9月1日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*			D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
標津 (8.5)	8/26	0	18.0	32.71	0	0	0	0	
		5	17.7	32.72	0	0	10	0	
		10	17.7	32.72	0	0	10	0	
		15	17.6	32.72	0	0	30	0	
厚岸 (1.0)	8/28	0	16.2	32.18	10	0	50	0	
		5	15.7	32.29	0	0	60	10	Di
		10	14.9	32.77	0	40	300	10	Di
		13	14.5	32.78	0	40	210	0	
増毛 (7.0)	8/26	0	21.8	32.92	0	0	0	0	
		10	19.0	33.94	0	0	0	50	Dro30, Dm20
		20	18.0	34.00	0	0	0	30	Dro20, Dm10
		30	15.3	34.02	0	0	0	10	Dro10

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtは、厚岸でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、標津でデイノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。  
厚岸ではデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびインファンディブラが出現しています。  
増毛ではデイノフィシス・ロツンダータとミトラが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK27)

(函館水試担当地区)

2015年8月27日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	8/21	0	20.7	32.00	0	0	0	0	0	
噴火湾湾口部		5	19.9	32.05	0	0	0	0	270	Dt60, Dm210
12.5		10	20.2	32.23	10	0	0	0	150	Dt90, Dm60
		15	20.8	32.53	0	0	0	0	110	Dt70, Dm40
		20	19.3	32.27	0	0	0	0	110	Dt100, Dm10
		25	18.1	32.66	0	0	0	0	90	Dt80, Dro10
		30	15.2	32.54	0	0	0	0	60	Dt50, Dm10
		40	8.8	32.89	0	0	0	0	20	Dm20
知内	8/20	0	23.9	33.71	0	0	0	0	40	Dru10, Dro30
津軽海峡		10	18.9	33.98	0	0	0	0	10	Dm10
7.0		20	18.7	34.03	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェーカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

8月中旬の津軽海峡の水温は、18.7~23.9°Cです。

8月下旬の噴火湾湾口部の水温は、8.8~20.8°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年8月24日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
網走 (10.0)	8/19	0	19.2	33.30	0	0	10	0	
		10	19.2	33.53	10	0	10	0	
		20	17.1	33.72	0	0	0	0	
		30	16.3	32.22	0	0	0	10	Dro
江差 (12.0)	8/17	0	24.2	33.96	0	0	0	30	Dro20, Dm10
		10	24.0	33.94	0	0	0	10	Dro
		20	22.4	33.94	0	0	0	20	Dru10, Dm10
		30	20.9	34.01	0	0	0	10	Dru
浜益 (5.0)	8/18	0	23.9	31.98	0	0	0	50	Dro
		10	23.5	32.81	0	0	0	0	
		20	20.2	33.84	0	0	0	0	
		30	17.7	34.03	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

麻痺性貝毒プランクトンAtが、網走でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ロツンダータ、ミトラ、ルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)



**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年8月19日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
紋別 (17.0)	8/10	0	20.2	33.43	0	0	0	0	
		15	18.4	33.74	0	0	0	0	
		25	18.1	33.76	0	0	0	0	
		40	17.4	33.81	0	0	0	0	
頓別 -	8/10	0	19.5	33.67	0	0	0	0	
		10	19.1	33.67	0	0	0	10	Dro
		20	19.0	33.71	0	0	0	0	
		30	18.8	33.70	0	0	0	0	
サロマ湖 (8.0)	8/17	0	21.2	32.94	0	0	0	0	
		3	21.2	32.95	0	0	0	0	
		6	20.7	33.10	0	0	0	10	Dru
		9	19.7	33.26	0	30	0	0	
		12	18.7	33.13	0	70	0	0	
常呂 (13.0)	8/17	15	17.1	32.22	0	50	20	0	
		0	20.4	33.49	0	0	0	0	
		10	19.6	33.66	0	0	0	10	Dru
		20	17.9	33.76	0	0	0	0	
		30	17.9	33.78	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス  
 Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)  
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ  
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティイ、アキュミナータ、ロツンダータおよびルジエイが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK26)

(函館水試担当地区)

2015年8月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 11.0	8/11	0	19.0	32.94	0	0	0	130	40	Dt30, Dro10
		10	14.5	32.65	20	0	100	110	110	Dt110
		20	10.6	32.80	0	0	20	10	10	Dro10
		30	10.1	32.87	0	0	10	10	10	Dm10
森 噴火湾西部 14.5	8/12	0	23.2	31.61	0	0	0	0	0	
		10	21.2	31.86	0	0	0	0	0	
		20	14.6	32.26	0	0	0	0	20	Dt10, Di10
		30	10.5	32.56	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサン德里ウム =旧名 プトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現していますが、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

8月中旬の水温は、太平洋中部では10.1~19.0°C、噴火湾西部では10.5~23.2°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年8月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
猿払 -	8/4	0	20.9	33.37	0	0	0	0	
		10	18.8	33.73	0	0	0	0	
		15	18.7	33.74	0	0	0	0	
		20	18.3	33.78	0	0	0	0	
能取湖 (6.0)	8/10	0	20.8	33.00	0	0	10	0	
		10	18.3	33.30	0	140	110	50	Di20, Dru30

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖でディノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、インファンディブラとルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK25)

(函館水試担当地区)

2015年8月10日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田	8/3	0	22.8	31.46	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	20.6	31.73	0	0	0	0	0	
9.5		10	18.1	31.96	0	0	0	20	60	Dt60
		15	16.2	32.32	0	0	0	10	50	Dt50
		20	12.7	32.20	0	0	0	0	0	
		25	9.3	32.51	0	0	10	0	20	Dn20

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサントリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロトンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。

8月上旬の水温は、噴火湾東部では9.3~22.8°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC33)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年8月6日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
江差 (19.0)	7/29	0	22.8	32.93	0	0	0	0	
		10	21.9	33.98	0	0	0	0	
		20	20.9	34.02	0	0	0	0	
		30	19.0	34.11	0	0	0	10	Dro
厚岸 (3.5)	8/3	0	19.6	31.47	10	0	220	0	
		5	14.7	32.21	40	10	390	30	Dn
		10	12.2	32.40	30	20	260	10	Dn
		13	11.1	32.50	0	20	450	0	

\*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス  
 Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)  
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンテイブラ  
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

8月上旬の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でデイノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。  
 その他、厚岸でデイノフィシス・フォルティとノルヴェジカが、江差でロツンダータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK24)

(函館水試担当地区)

2015年7月31日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森 噴火湾西部 9.0	7/27	0	21.1	31.41	10	0	0	10	0	
		10	16.1	32.14	0	0	0	10	0	
		20	10.3	32.27	0	0	0	0	0	
		30	7.9	32.49	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 10.0	7/22	0	17.6	31.93	0	0	0	0	0	
		5	16.0	32.73	0	0	0	0	0	
		10	13.5	32.75	0	10	10	30	0	
		15	12.5	32.50	0	0	20	0	0	
		20	11.0	32.87	0	0	0	0	10	Dro10
		25	8.8	32.71	0	0	0	0	50	Dn30, Dro20
		30	7.2	32.61	0	10	0	0	20	Dn10, Dro10
40	6.2	32.68	0	0	0	0	0			
知内 津軽海峡 11.0	7/24	0	20.6	33.75	0	0	0	0	0	
		10	16.0	34.11	0	0	0	0	0	
		20	15.0	34.15	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロウンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

7月下旬の水温は、噴火湾西部では7.9～21.1°C、噴火湾湾口部では6.2～17.6°C、津軽海峡では15.0～20.6°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年7月30日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
浜益 (14.0)	7/21	0	19.7	33.28	0	0	0	0	
		10	17.9	33.76	0	0	0	0	
		20	17.5	33.93	0	0	0	0	
		30	14.8	33.82	0	0	0	0	
猿払 -	7/22	0	17.8	33.63	0	0	0	0	
		10	16.3	33.76	0	0	0	0	
		15	16.0	33.76	0	0	0	0	
		20	16.0	33.76	0	0	0	0	
標津 (8.0)	7/27	0	14.9	32.55	0	0	20	0	
		5	14.2	32.69	0	10	0	0	
		10	12.8	32.87	10	0	10	0	
		15	11.6	32.96	0	0	0	0	
増毛 (13.0)	7/24	0	20.8	32.82	0	0	0	0	
		10	18.1	33.71	0	0	0	10	Di
		20	17.6	33.92	0	0	0	10	Dru
		30	17.3	33.95	0	0	0	0	
能取湖 (7.1)	7/29	0	21.0	33.20	0	0	0	0	
		10	16.0	33.38	0	250	380	0	

\*At = *Alexandrium tamarense* アレキサンドリウム・タマレンセ = 旧名 *Protococconeis*・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、標津海域でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、標津と能取湖でデイノフィシス・フォルティとアキュミナータが出現しています。

また、増毛ではデイノフィシス・インファンディブラとルジエイが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK23)

(函館水試担当地区)

2015年7月24日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/21	0	18.0	32.61	0	0	0	0	70	Dt70
太平洋中部		10	15.1	32.66	0	0	0	50	140	Dt140
10.0		20	11.2	32.82	0	0	10	10	90	Dt40, Dn30, Dro20
		30	-	-	0	0	10	10	20	Dn20
虻田	7/21	0	19.8	30.97	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	18.0	31.62	0	0	0	0	10	Dro10
11.5		10	14.5	31.94	0	0	10	0	10	Di10
		15	11.7	32.24	10	0	20	50	20	Dn20
		20	9.3	32.37	0	0	30	30	0	
		25	7.0	32.50	0	0	0	0	0	
八雲	7/21	0	20.0	31.32	0	0	0	0	0	
噴火湾西部		5	18.4	31.62	0	0	0	10	0	
13.0		10	13.5	32.03	0	0	0	0	0	
		15	11.5	32.16	0	0	0	0	0	
		20	9.6	32.32	0	0	0	0	0	
		25	8.7	32.38	0	0	0	0	0	
		30	8.3	32.46	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェンカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現していますが、太平洋中部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

7月下旬の水温は、太平洋中部では11.2~18.0°C、噴火湾東部では7.0~19.8°C、噴火湾西部では8.3~20.0°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)



**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年7月24日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	Dn 細胞/L	
厚岸 (9.0)	7/23	0	17.4	31.20	640	0	940	0	
		5	12.5	32.32	230	0	670	0	
		10	10.7	32.48	30	0	660	30	Dn
		13	9.7	32.48	40	0	690	10	Dn

\*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコノラックス・タマレンシス  
 Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)  
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ  
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

7月下旬の厚岸海域で、麻痺性貝毒プランクトンAtが多く出現しています。  
 太平洋東部海域では、麻痺性毒値の上昇に警戒してください。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でデイノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC30)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年7月23日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
頓別	7/13	0	14.9	33.64	0	0	0	0	
		10	14.6	33.68	0	0	0	0	
		20	14.4	33.73	0	0	0	0	
		30	14.4	33.72	0	0	0	0	
サロマ湖 (6.5)	7/21	0	20.0	33.21	0	0	0	0	
		3	19.6	32.70	10	0	0	0	
		6	16.0	33.21	0	10	0	0	
		9	15.0	33.19	0	20	40	0	
		12	14.5	33.19	0	10	10	0	
		15	13.2	33.17	0	130	10	0	
常呂 (13.5)	7/21	0	19.0	33.44	0	0	0	0	
		10	15.6	33.54	0	0	0	0	
		20	15.3	33.58	0	0	0	0	
		30	15.2	33.60	0	0	0	0	
能取湖 (6.8)	7/18	0	18.7	33.11	0	0	0	0	
		10	15.1	33.37	0	370	70	0	
網走 (10.0)	7/21	0	17.7	32.88	10	0	0	0	
		10	15.1	33.14	0	0	10	10	Dro
		20	14.2	33.46	0	10	0	10	Di
		30	13.9	33.61	0	20	0	0	
江差 (11.0)	7/17	0	18.8	34.06	0	0	0	0	
		10	16.6	33.98	0	0	0	0	
		20	14.6	34.12	0	0	0	0	
		30	8.9	34.15	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトゴニオラックス・タマレンシス  
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)  
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ  
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

麻痺性貝毒プランクトンAtは、サロマ湖と網走でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖と能取湖でデイノフィシス・フォルティが多く出現しています。  
 そのほか、デイノフィシス・アキュミナータ、ロツンダータおよびインファンティブラが出現している海域があります。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC29)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年7月21日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
紋別 (11.0)	7/13	0	13.4	33.49	10	0	0	0
		15	13.6	33.63	40	0	0	0
		25	13.5	33.62	40	0	0	0
		40	13.1	33.58	10	0	0	0

\*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtが出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年7月17日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	7/8	0	14.1	33.65	0	0	0	10	Di
		10	14.1	33.67	0	0	0	0	
		15	14.1	33.66	0	20	0	0	
		20	14.0	33.67	0	50	20	0	
増毛 (11.0)	7/10	0	ND	ND	0	0	0	0	Di
		10	ND	ND	0	0	0	0	
		20	ND	ND	0	10	0	10	
		30	ND	ND	0	10	0	0	
標津 (8.0)	7/16	0	13.1	32.38	10	0	20	0	
		5	12.9	32.40	10	0	0	0	
		10	11.3	32.67	0	0	0	0	
		15	9.5	33.03	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは、標津海域でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティ、アキュミナータおよびインファンティブラが出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK22)

(函館水試担当地区)

2015年7月15日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	7/10	0	17.2	31.80	80	0	0	60	30	Di20, Dru10
噴火湾西部		10	14.6	31.86	30	0	10	70	50	Di30, Dru20
11.0		20	12.1	32.13	10	0	0	140	80	Di30, Dru20
		30	7.3	32.31	0	0	0	20	50	Dn50

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

7月上旬の水温は、噴火湾西部では7.3~17.2°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年7月10日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (9.0)	7/6	0	13.8	31.94	10	0	310	10	Dru
		5	11.8	32.14	0	0	20	0	
		10	9.2	32.66	0	0	40	0	
		15	8.3	32.78	10	0	130	0	
サロマ湖 (6.0)	7/6	0	15.3	32.87	0	0	10	0	
		3	15.2	32.85	0	0	10	0	
		6	13.1	33.15	0	30	0	0	
		9	12.3	33.09	0	30	0	0	
		12	11.6	33.55	0	20	10	0	
		15	11.6	33.56	0	0	0	0	
常呂 (11.0)	7/6	0	13.0	33.84	0	20	0	0	
		10	11.7	33.68	0	0	0	0	
		20	11.4	33.69	0	10	20	0	
		30	11.4	33.70	0	0	0	10	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス  
 Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)  
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティイ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ  
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

麻痺性貝毒プランクトンAtは標津でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、標津でデイノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK21)

(函館水試担当地区)

2015年7月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/6	0	14.0	32.77	0	0	0	40	0	
太平洋中部		10	12.0	32.94	0	0	0	10	10	Dt10
10.0		20	9.7	32.73	0	0	0	20	0	
		30	10.3	33.21	0	0	0	0	0	
虻田	7/6	0	17.8	30.91	0	0	0	50	0	
噴火湾東部		5	15.8	31.69	0	0	0	10	0	
10.0		10	13.6	31.91	0	0	0	20	0	
		15	11.1	32.08	10	0	10	40	0	
		20	9.6	32.33	20	0	0	30	0	
		25	9.2	32.42	0	0	0	10	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現していますが、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

7月上旬の水温は、太平洋中部では9.7~14.0°C、噴火湾東部では9.2~17.8°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年7月6日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (4.0)	7/2	0	12.1	31.61	0	0	90	30	Dn
		5	11.3	31.75	0	0	970	210	Dn190, Dru20
		10	8.4	32.19	0	10	200	0	
		13	7.6	32.34	0	0	20	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス  
 Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)  
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ  
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、厚岸でデイノフィシス・アキュミナータとノルウェジカが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年6月18日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 (11.0)	6/22	0	15.9	33.02	0	0	0	0	
		10	13.9	33.45	0	0	0	0	
		20	13.7	33.91	0	0	0	10	Di
		30	12.3	33.96	0	0	0	0	
江差 (16.0)	6/23	0	18.0	34.20	0	0	0	0	
		10	17.8	34.18	0	0	0	10	Dro
		20	15.1	34.16	0	0	0	0	
		30	11.4	34.21	0	0	0	10	Dro
猿払 -	6/24	0	12.1	33.73	0	0	0	0	
		10	11.7	33.78	0	0	0	0	
		15	11.4	33.83	0	0	0	0	
		20	11.4	33.83	0	20	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtの出現はありません。

下痢性貝毒プランクトンは、増毛でデイノフィシス・インファンディブラ、江差でデイノフィシス・ロツンダータ、猿払でデイノフィシス・フォルティがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK20)

(函館水試担当地区)

2015年6月30日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森 噴火湾西部 8.0	6/25	0	15.6	31.80	10	0	10	180	10	Dru10
		10	12.4	32.01	10	0	0	90	10	Dn10
		20	8.8	31.88	10	0	0	150	20	Dn20
		30	4.5	32.48	10	0	0	20	0	
鹿部 噴火湾湾口部 10.0	6/24	0	16.3	31.83	0	0	0	130	0	
		5	15.8	31.85	0	0	0	90	0	
		10	14.3	31.94	0	0	0	130	20	Dn10, Di10
		15	11.8	32.14	10	0	0	70	20	Dn20
		20	10.7	32.38	0	0	0	50	10	Dru10
		25	9.6	32.43	0	0	0	30	20	Dn10, Dru10
		30	7.6	32.38	0	0	0	0	10	Dn10
40	5.7	32.60	0	0	0	0	0			

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサン德里ウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

6月下旬の水温は、噴火湾西部では4.5～15.6°C、噴火湾湾口部では5.7～16.3°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年6月26日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 (4.0)	6/18	0	16.1	31.87	0	0	0	0	Di
		10	15.7	32.11	0	0	0	10	
		20	13.4	33.34	0	10	0	0	
		30	11.7	33.90	0	0	0	0	
サロマ湖 (7.0)	6/22	0	16.8	32.60	0	10	0	0	Di
		3	16.6	31.90	0	0	10	10	
		6	13.3	32.65	0	70	0	0	
		9	12.0	32.78	0	70	0	0	
		12	11.2	32.94	0	30	0	0	
常呂 (13.0)	6/22	0	13.8	33.33	0	0	0	10	Di
		10	12.0	33.64	0	10	0	10	Di
		20	11.6	33.65	0	0	0	20	Di
		30	11.4	33.69	0	0	0	0	
能取湖 (6.8)	6/22	0	15.6	32.67	0	0	20	0	
		10	12.4	32.89	0	10	0	0	
網走	6/22	0	12.1	31.97	0	0	0	0	
		10	9.5	33.00	0	0	0	0	
		20	9.8	33.45	0	0	10	0	
		30	8.8	33.27	0	0	0	0	
厚岸 (3.0)	6/24	0	14.2	30.46	0	0	1,240	400	Dn390, Dro10
		5	11.4	31.71	0	0	610	440	Dn430, Dro10
		10	8.8	32.09	0	0	120	190	Dn
		13	8.0	32.15	0	0	30	20	Dn

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス  
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)  
 Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ  
 Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ  
 Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、サロマ湖でデイノフィシス・フォルティがやや多く、厚岸でデイノフィシス・アキュミナータとノルヴェジカが多く出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2015年6月24日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	6/22	0	12.5	32.08	0	0	0	180	70	Dn70
太平洋中部		10	8.2	32.31	0	0	0	20	70	Dn70
8.0		20	6.9	32.38	0	0	0	0	20	Dn20
		30	6.1	32.46	0	0	0	0	10	Dn10
知内	6/23	0	17.3	33.80	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	13.4	33.89	0	0	0	0	0	
9.0		20	13.1	33.98	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現していますが、津軽海峡には出現していません。

6月下旬の水温は、太平洋中部では6.1~12.5°C、津軽海峡では13.1~17.3°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年6月22日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
紋別 (12.0)	6/15	0	-	-	10	20	30	0
		15	-	-	0	0	0	0
		25	-	-	0	0	0	0
		40	-	-	0	0	0	0

\*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

麻痹性貝毒プランクトンAtがわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・フォルティとアキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年6月18日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	6/11	0	10.8	33.71	0	0	0	0	
		10	10.8	33.74	0	0	0	0	
		15	10.8	33.74	0	0	0	0	
		20	10.8	33.74	0	0	0	0	
江差 (16.0)	6/11	0	14.6	33.60	0	0	0	0	
		10	14.0	34.04	0	0	0	0	
		20	13.7	34.05	0	0	0	10	Dro
		30	13.3	34.07	0	0	0	0	
増毛 (10.0)	6/11	0	12.6	33.59	0	0	0	0	
		10	12.3	33.90	0	0	0	0	
		20	12.2	33.95	0	0	0	0	
		30	11.6	33.88	0	0	0	10	Dru
頓別 -	6/11	0	10.8	33.72	0	20	0	0	
		10	10.7	33.77	0	20	0	0	
		20	10.7	33.76	0	0	0	0	
		30	10.7	33.77	0	20	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtの出現はありません。

下痢性貝毒プランクトンは、江差でデイノフィシス・ロツンダータ、増毛でデイノフィシス・ルジエイ、頓別でデイノフィシス・フォルティがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2015年6月18日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 13.5	6/16	0	14.7	31.39	0	0	0	0	0	
		5	13.0	31.76	0	0	0	0	0	
		10	11.5	31.83	50	0	0	80	0	
		15	10.3	31.93	80	0	0	30	0	
		20	7.4	32.03	70	0	0	140	0	
		25	6.0	32.40	170	0	0	190	20	Dn20
八雲 噴火湾西部 6.0	6/15	0	14.9	31.31	10	0	0	40	0	
		5	12.5	31.58	40	0	0	170	0	
		10	11.9	31.65	640	10	0	130	10	Dn10
		15	10.6	31.85	80	0	0	120	0	
		20	8.0	32.01	0	0	0	0	0	
		25	5.6	32.33	10	0	0	0	0	
		30	4.9	32.44	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。**両海域とも出現数が100細胞/Lを超えています。**

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています

6月中旬の水温は、噴火湾東部では6.0～14.7°C、噴火湾西部では4.8～13.8°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年6月16日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津	6/12	0	9.8	32.00	0	0	10	0	
-		5	8.6	32.30	0	0	10	0	
		10	8.5	32.30	0	0	0	10	Dru
		15	8.5	32.31	0	0	0	20	Dru

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ルジエイがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年6月12日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L		
能取湖 (5.5)	6/8	0	13.3	32.74	0	0	10	0	Dn
		10	12.2	33.10	0	0	0	30	
サロマ湖 (4.3)	6/8	0	12.6	32.82	0	0	0	0	Dn Dn Dn Di
		3	12.4	32.85	0	0	0	0	
		6	12.4	32.89	0	0	0	10	
		9	12.3	32.90	0	0	0	10	
		12	12.3	32.95	0	0	0	10	
常呂 (8.0)	6/8	0	10.8	32.77	0	0	10	0	
		10	9.8	33.62	0	0	0	0	
		20	9.7	33.69	10	0	0	0	
		30	9.4	33.72	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは常呂海域でわずかに出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータ、ノルヴェジカおよびインファンディブラがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2015年6月10日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	6/8	0	7.5	32.46	0	0	0	0	10	Dn10
太平洋中部		10	4.5	32.51	0	0	0	0	10	Dru10
10.0		20	4.0	32.61	0	0	0	0	0	
		30	3.9	32.60	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現しています。

6月上旬の水温は、太平洋中部では3.9~7.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2015年6月9日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	6/3	0	12.9	31.56	60	0	0	110	0	
噴火湾西部		10	9.8	31.80	160	0	0	90	10	Dn10
6.0		20	5.0	32.21	10	10	0	20	10	Dn10
		30	3.5	32.64	20	0	0	30	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

6月上旬の水温は、噴火湾西部では3.5～12.9°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年6月4日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.5)	6/4	0	11.6	30.78	0	0	0	0	
		5	8.8	31.91	0	0	10	30	
		10	7.3	31.90	0	0	0	10	
		13	5.1	32.31	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

6月上旬の厚岸海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータ、ノルヴェジカ、ロツンダータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK15)

(函館水試担当地区)

2015年6月4日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田	6/2	0	13.9	30.10	180	0	0	120	0	
噴火湾東部 10.5		5	10.9	31.84	20	0	0	110	10	Dn10
		10	9.7	31.84	130	0	0	60	10	Dn10
		15	7.9	31.96	110	0	0	200	20	Dn20
		20	5.2	32.25	150	0	0	80	0	
		25	3.9	32.57	20	0	0	30	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, *At*=*Alexandrium tamarense*, *Ao*=*Alexandrium ostenfeldii*

*Dn*=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, *Dt*= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

*Dm*=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, *Dc*=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

*Di*=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, *Dru*=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

*Dro*=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。

6月上旬の水温は、噴火湾東部では3.9~13.9°Cです。

(担当:吉田秀嗣・金森 誠)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年6月3日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 -	5/26	0	9.1	33.77	0	0	0	0
		10	9.0	33.84	0	0	0	0
		15	9.0	33.88	0	0	0	0
		20	8.9	33.93	0	0	0	0
江差 (11.0)	5/27	0	13.9	33.97	0	0	0	0
		10	12.7	34.03	0	0	0	0
		20	11.7	34.09	0	0	0	0
		30	10.9	34.11	0	0	0	0

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 フロコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

麻痺性貝毒プランクトンAtの出現はありません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2015年6月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	5/28	0	10.7	31.85	200	0	0	60	0	
噴火湾湾口部		5	9.9	31.80	110	0	0	40	0	
7.0		10	8.0	32.17	70	0	0	60	10	Dn10
		15	6.7	32.20	50	10	0	20	30	Dn30
		20	4.4	32.47	160	0	0	20	60	Dn60
		25	3.8	32.54	0	0	0	0	0	
		30	3.8	32.65	0	0	0	0	0	
		40	3.7	32.75	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィニス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィニス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィニス ノルヴェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィニス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィニス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィニス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィニス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィニス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィニス ロテンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

5月下旬の水温は、噴火湾湾口部では3.7~10.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年6月1日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	細胞/L	
標津 (8.0)	5/28	0	9.0	31.13	0	0	0	0	
		5	7.7	31.52	0	0	0	0	
		10	6.2	31.90	0	0	10	0	
		15	4.5	32.36	0	0	0	0	
増毛 (13.0)	5/25	0	10.8	33.82	0	0	0	0	
		10	10.6	33.59	0	0	0	10	Dru
		20	10.6	33.73	0	0	20	0	
		30	10.3	33.72	0	0	0	0	
厚岸 (4.3)	5/29	0	10.2	31.53	0	0	10	0	
		5	7.9	32.08	0	0	20	30	Dn
		10	7.0	32.12	0	0	0	50	Dn
		13	6.3	32.18	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

5月下旬の標津、増毛、厚岸海域では麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが標津、増毛、厚岸海域でわずかに出現しています。厚岸ではデイノフィシス・ノルウェジカが出現しています。増毛ではデイノフィシス・ルジエイがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年5月28日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
浜益 (5.0)	5/18	0	10.79	32.88	0	0	0	0
		10	10.3	33.39	0	0	0	0
		20	10.26	33.56	0	0	0	0
		30	9.99	33.71	0	0	0	0
能取湖 (6.4)	5/25	0	12.0	32.52	0	0	10	0
		10	11.0	33.04	0	0	0	0
網走 (6.0)	5/25	0	8.6	33.15	0	0	0	0
		10	8.5	33.31	0	0	10	0
		20	8.4	33.29	0	0	0	0
		30	7.9	33.35	0	0	10	0

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖と網走海域でデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年5月25日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
猿払 -	5/18	0	9.3	33.45	0	10	0	0
		10	9.3	33.49	0	0	0	0
		15	9.2	33.55	0	0	0	0
		20	9.0	33.68	0	0	0	0
紋別 (9.0)	5/18	0	9.9	33.45	0	0	0	0
		15	9.4	33.47	0	0	0	0
		25	9.3	33.48	0	10	0	0
		40	9.3	33.49	0	10	0	0

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痹性貝毒プランクトンAtの出現はありません。

下痢性貝毒プランクトンは、猿払および紋別でデイノフィシス・フォルティがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2015年5月25日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森	5/21	0	8.6	31.48	690	0	0	50	0	
噴火湾西部		10	6.8	31.90	390	0	0	20	10	Dn10
5.0		20	4.6	32.36	70	10	0	20	0	
		30	3.6	32.58	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

5月下旬の水温は、噴火湾西部では3.6~8.6°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2015年5月22日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 6.0	5/18	0	6.3	32.02	0	0	0	20	20	Dn10, Dru10
		10	5.2	32.27	0	0	0	10	20	Dn20
		20	3.4	32.60	0	0	0	0	0	
		30	2.3	32.71	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 10.5	5/18	0	9.7	28.10	2,760	0	0	10	0	
		5	8.1	31.79	150	0	0	0	0	
		10	7.5	31.88	90	0	0	0	0	
		15	5.2	32.16	340	0	0	0	0	
		20	4.0	32.40	10	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 4.0	5/18	0	9.4	31.44	340	0	0	110	0	
		5	8.8	31.64	360	0	0	330	0	
		10	8.5	31.68	600	0	0	70	0	
		15	6.3	32.04	70	0	0	30	10	Dn10
		20	4.7	32.32	0	10	0	0	0	
		25	4.4	32.36	0	0	0	20	0	
知内 津軽海峡 12.0	5/18	0	10.6	33.98	0	0	0	0	0	
		10	10.2	33.99	0	0	0	10	0	
		20	10.0	34.04	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィンス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィンス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィンス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィンス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィンス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィンス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィンス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィンス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィンス ロテンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。**両海域とも出現数が100細胞/Lを超えています。注意して下さい。**太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

5月中旬の水温は、太平洋中部では2.3~6.3°C、噴火湾東部では3.5~9.7°C、噴火湾西部では4.2~9.4、津軽海峡では10.0~10.6°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年5月20日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		D属の他種 細胞/L	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L			
頓別	5/13	0	9.4	33.51	0	10	10	10	Dru	
		10	9.4	33.52	0	0	0	0		
		20	9.4	33.54	0	0	0	0		
		30	9.4	33.52	0	0	0	0		
サロマ湖 (6.4)	5/18	0	10.6	32.03	0	0	0	0		
		3	10.5	32.04	0	0	0	0		
		6	10.5	32.04	0	0	0	0		
		9	10.6	32.17	0	0	0	0		
		12	10.0	32.26	0	0	0	0		
		15	9.0	32.53	0	0	0	0		
常呂 (9.0)	5/18	0	9.5	33.31	0	0	0	0		
		10	9.1	33.40	0	0	0	0		
		20	8.9	33.50	0	0	0	0		
		30	8.9	33.51	0	0	0	0		
標津 (5.0)	5/18	0	6.4	31.49	0	0	20	10	Dru Dru	
		5	6.4	31.49	0	0	0	20		
		10	5.2	31.80	0	0	0	0		
		15	3.8	32.08	0	0	0	0		
江差 (7.0)	5/14	0	11.8	33.88	0	0	0	0		
		10	11.7	34.02	0	0	0	0		
		20	11.3	34.02	0	0	0	0		
		30	10.5	34.11	0	0	0	0		
増毛 (10.0)	5/15	0	10.5	32.76	0	0	0	0		
		10	9.6	33.49	0	10	0	0		
		20	9.2	33.80	0	10	0	0		
		30	-	-	0	0	0	0		

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンダーリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンダーリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンタータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtの出現はありません。

下痢性貝毒プランクトンは、頓別、標津および増毛海域でデイノフィシス・フォルティ、アキュミナータ、ルジエイがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年5月15日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
能取湖 (6.4)	5/11	0	10.9	32.26	0	0	20	0
		10	8.9	32.83	0	0	20	0

\*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラクス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

## コメント

5月上旬の能取湖海域では  
麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2015年5月19日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 7.5	5/8	0	6.9	31.87	0	0	0	10	10	Dn10
		10	4.9	32.40	0	0	0	40	60	Dn50, Dro10
		20	5.5	32.86	0	0	0	0	10	Dro10
		30	2.6	32.72	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 10.5	5/7	0	9.5	29.83	70	0	0	10	0	
		5	8.2	31.77	70	0	0	40	0	
		10	6.1	31.95	10	0	0	30	0	
		15	5.0	32.19	10	0	0	10	10	Dn10
		20	4.6	32.24	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 8.0	5/1	0	8.5	31.40	0	0	0	1090	0	
		10	7.0	31.97	0	0	0	240	10	Dn10
		20	5.3	32.13	0	0	0	30	0	
		30	3.7	32.47	0	0	0	10	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。太平洋中部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

5月上旬の水温は、太平洋中部では2.6~6.9°C、噴火湾東部では4.3~9.5°C、噴火湾西部では3.7~8.5です。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年5月11日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (4.5)	5/8	0	8.5	30.73	0	0	0	0
		5	5.6	31.82	0	0	0	0
		10	3.9	32.01	0	0	0	0
		12	2.7	32.21	0	0	0	0

\*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

## コメント

5月上旬の厚岸域では、麻痹性貝毒プランクトンAtの出現はありません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏、佐藤政俊)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年5月11日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
常呂 (14.0)	5/7	0	9.2	33.08	0	0	0	0
		10	8.6	33.44	0	0	0	0
		20	8.4	33.51	0	0	10	0
		30	8.4	33.54	0	0	10	0
サロマ湖 (5.2)	5/7	0	10.9	30.82	0	0	30	0
		3	10.9	30.82	0	0	0	0
		6	10.8	31.15	0	0	10	0
		9	8.6	31.34	0	0	0	0
		12	6.9	32.24	0	0	0	0
		15	6.5	32.59	0	0	0	0
江差 (9.0)	4/28	0	9.2	34.20	0	0	0	0
		10	9.1	34.13	0	0	0	0
		20	9.1	34.13	0	0	0	0
		30	9.1	34.13	0	0	0	0

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウヰジカ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス ルジエイ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンAtの出現はありません。

下痢性貝毒プランクトンは、常呂とサロマ湖でディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2015年5月7日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	4/22	0	3.9	31.78	0	0	0	10	0	
太平洋中部		10	3.5	31.96	0	0	0	10	20	Dn10, Dro10
4.0		20	3.0	32.25	0	0	0	10	0	
		30	2.8	32.29	0	0	0	0	0	
森	4/21	0	4.4	32.18	0	0	0	160	0	
噴火湾西部		10	4.3	32.18	10	0	0	110	0	
9.0		20	4.1	32.23	0	0	0	70	0	
		30	3.4	32.58	0	0	0	0	0	
鹿部	4/24	0	6.0	31.63	0	0	0	470	10	Dn10
噴火湾湾口部		5	5.8	31.58	60	10	0	240	0	
7.0		10	5.0	31.94	0	0	0	0	10	Dn10
		15	4.6	32.07	0	0	0	80	0	
		20	4.3	32.25	0	0	0	10	10	Dro10
		25	4.2	32.38	10	0	0	0	0	
		30	3.5	32.59	0	0	0	0	0	
		40	3.1	32.69	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサントリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。太平洋中部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

4月下旬の水温は、太平洋中部では2.8~3.9°C、噴火湾西部では3.4~4.4°C、噴火湾湾口部では3.1~6.0です。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年5月1日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痹性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (5.0)	4/28	0	4.4	30.98	0	0	0	0
		5	3.8	31.63	0	0	0	0
		10	0.6	32.14	0	0	0	0
		15	0.0	32.27	0	0	0	0
能取湖 (5.5)	4/28	0	8.3	30.64	0	0	130	10
		10	5.9	32.51	0	0	20	0
増毛 (5.0)	4/23	0	8.3	33.66	0	0	0	0
		10	7.9	33.51	0	0	0	0
		20	7.9	33.61	0	0	10	0
		30	7.8	33.77	0	0	10	0

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサン德里ウム・アフィネ (無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

4月下旬の標津、能取湖、増毛海域では  
 麻痹性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、能取湖デイノフィシス・アキュミナータが多く出現しています。  
 増毛ではデイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC9)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年4月27日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (2.0)	4/24	0	5.8	30.91	0	0	0	0	
		5	4.6	31.40	0	0	0	0	
		10	3.6	31.66	0	0	0	0	
		12	2.6	32.00	0	0	0	0	
猿払 —	4/20	0	6.7	33.67	0	0	20	0	
		10	6.6	33.76	0	0	0	0	
		15	6.6	33.83	0	0	10	0	
		20	6.5	33.88	0	0	0	0	

\*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 フロコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

4月下旬の厚岸、猿払、常呂、サロマ湖域では、麻痺性貝毒プランクトンAtの出現はありません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK09)

(函館水試担当地区)

2015年4月22日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	4/13	0	2.8	32.35	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	2.3	32.55	0	0	0	10	0	
8.0		20	2.2	32.60	0	0	0	0	0	
		30	2.1	32.65	0	0	0	0	0	
虻田	4/20	0	5.4	31.51	0	0	0	170	0	
噴火湾東部		5	4.8	32.20	0	0	0	50	0	
15.0		10	4.6	32.29	0	0	0	130	10	Dn10
		15	4.4	32.32	0	0	0	0	0	
		20	4.2	32.37	0	0	0	0	0	
		25	3.6	32.50	0	0	0	0	0	
知内	4/16	0	9.1	33.33	0	0	0	70	0	
津軽海峡		10	8.9	33.65	0	0	0	30	0	
11.0		20	9.0	33.70	0	0	0	10	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡に出現しています。

4月中旬の水温は、太平洋中部では2.1~2.8°C、噴火湾東部では3.6~5.4°C、津軽海峡では8.9~9.1です。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年4月22日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 (9.0)	4/14	0	9.6	33.87	0	0	0	0	
		10	9.0	33.91	0	0	0	0	
		20	9.0	33.97	0	0	0	0	
		30	9.0	33.97	0	0	0	0	
浜益 (6.0)	4/15	0	8.2	31.31	0	0	0	0	
		10	8.1	31.74	0	0	10	0	
		20	7.7	32.76	0	0	0	0	
		30	7.7	33.80	0	0	0	0	
増毛 (12.0)	4/14	0	8.4	32.91	0	0	0	0	
		10	7.8	33.28	0	0	0	0	
		20	7.7	33.49	0	0	0	0	
		30	7.7	33.66	0	0	10	0	
頓別 (-)	4/17	0	6.5	33.55	0	0	10	0	
		10	6.5	33.61	0	0	40	0	
		20	6.5	33.62	0	0	10	0	
		30	6.5	33.63	0	0	10	0	
常呂 (8.0)	4/20	0	6.3	32.91	0	0	20	0	
		10	6.4	33.28	0	0	30	0	
		20	6.1	33.43	0	0	10	0	
		30	6.2	33.45	0	0	20	0	
サロマ湖 (3.5)	4/20	0	5.4	30.19	0	0	0	0	
		3	5.4	30.20	0	0	0	0	
		6	5.2	31.00	0	0	10	0	
		9	4.9	31.47	0	0	10	0	
		12	4.8	31.67	0	0	0	0	
		15	4.7	31.68	0	0	0	0	
能取湖 (4.5)	4/16	0	5.1	30.44	0	0	30	0	
		10	5.2	31.92	0	0	10	0	
網走 (5.0)	4/16	0	4.2	32.09	0	0	200	0	
		10	3.1	32.60	0	0	90	0	
		20	2.1	32.70	0	0	90	10	Di
		30	1.9	32.78	0	0	0	0	

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラククス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフイネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

4月中旬の日本海南部(江差)、石狩湾(浜益)、日本海北部(増毛)、宗谷南部(頓別)、網走中部(常呂)、サロマ湖、能取湖および網走南部(網走)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、日本海南部を除く海域で、主にデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年4月17日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別 (10.5)	4/13	0	2.7	32.79	0	0	0	20	Di
		15	4.9	33.47	0	0	60	20	Di
		25	5.0	33.49	0	0	20	10	Di
		40	5.0	33.49	0	0	80	0	

\*At = Alexandrium tamarense アレキサン德里ウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affine アレキサン德里ウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

4月の紋別海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータとインファンディブラが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK08)

(函館水試担当地区)

2015年4月14日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 5.5	4/6	0	4.6	31.62	0	0	0	0	0	
		5	4.0	32.32	10	0	0	30	0	
		10	3.8	32.33	0	0	0	20	20	Dn20
		15	3.6	32.34	0	0	0	20	0	
		20	3.7	32.38	0	0	0	20	0	
		25	3.7	32.38	0	0	0	30	0	
八雲 噴火湾西部 3.0	4/8	0	4.6	29.62	0	0	0	90	0	
		5	4.4	31.58	0	0	0	520	20	Dn20
		10	4.3	31.78	0	0	0	110	0	
		15	4.1	32.00	0	0	0	0	0	
		20	3.8	32.34	0	0	0	0	0	
		25	3.0	32.55	0	0	0	10	0	
		30	3.0	32.54	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 6.0	4/6	0	3.1	32.87	0	0	0	0	0	
		10	3.1	32.86	0	0	0	0	0	
		20	3.1	32.96	0	0	0	0	0	
		30	3.4	33.13	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾東部に出現しています。噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

4月上旬の水温は、噴火湾東部では3.6~4.6°C、噴火湾西部では3.0~4.6°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森 誠)



**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年4月15日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.0)	4/8	0	4.5	28.70	0	0	0	0	
		5	3.6	30.59	0	0	0	0	
		10	2.5	31.59	0	0	0	0	
		12	2.2	31.77	0	0	0	0	
猿払 —	4/7	0	ND	ND	0	0	30	0	
		10	6.3	33.77	0	0	30	0	
		15	6.3	33.78	0	0	30	0	
		20	6.3	33.77	0	0	50	0	
常呂 (7.0)	4/13	0	3.8	31.73	0	0	0	0	
		10	1.2	32.45	0	0	60	0	
		20	2.6	33.06	0	0	50	10	Dro
		30	3.5	33.27	0	0	0	0	
サロマ湖 (2.2)	4/13	0	5.5	29.22	0	0	0	0	
		3	4.9	30.23	0	0	0	0	
		6	4.1	30.75	0	0	0	0	
		9	4.4	32.16	0	0	10	0	
		12	4.8	32.23	0	0	0	0	
		15	4.7	31.99	0	0	0	0	

\*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

**コメント**

4月中旬の厚岸、猿払、常呂、サロマ湖海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtの出現はありません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータとロツンダータが出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK07)

(函館水試担当地区)

2015年3月30日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	3/19	0	3.5	32.40	0	0	0	120	0	
噴火湾湾口部		5	2.9	32.49	10	0	0	210	0	
4.5		10	2.3	32.50	0	0	0	80	0	
		15	2.2	32.49	0	0	0	20	0	
		20	2.4	32.55	0	0	0	70	0	
		25	2.3	32.65	0	0	0	0	0	
		30	2.4	32.70	0	0	0	10	0	
		40	2.4	32.73	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾湾口部に出現しています。

3月中旬の水温は、噴火湾湾口部では2.2~3.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK06)

(函館水試担当地区)

2015年3月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 5.0	3/16	0	3.2	31.88	0	0	0	90	0	
		5	2.9	32.33	0	0	0	80	0	
		10	2.6	32.54	0	0	0	0	0	
		15	2.6	32.58	0	0	0	10	0	
		20	2.5	32.62	0	0	0	0	0	
		25	2.6	32.70	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 4.5	3/17	0	3.2	32.08	10	0	0	190	0	
		10	2.8	32.61	0	0	0	70	0	
		20	2.3	32.70	0	0	0	0	0	
		30	2.4	32.72	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは、噴火湾西部に出現しています。

3月中旬の水温は、噴火湾西部では2.3~3.2°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年3月20日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*			D属の他種
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.3)	3/18	0	2.8	30.59	0	0	0	0	Dru
		5	1.3	32.03	0	0	0	10	
		10	0.8	32.37	0	0	0	0	
		12	1.1	32.55	0	0	0	0	

\*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

3月中旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・ルジエイがわずかに出現しています。

(担当: 海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年3月16日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (6.0)	3/13	0	-1.1	31.77	0	0	0	0
		5	-1.1	31.78	0	0	0	0
		10	-1.1	31.81	0	0	0	0
		15	-1.0	31.98	0	0	0	0

\*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコネオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

**コメント**

3月中旬の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンも出現していません。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK05)

(函館水試担当地区)

2015年3月11日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	3/6	0	1.2	32.32	0	0	0	20	0	
太平洋中部		10	1.0	32.37	0	0	0	20	0	
4.0		20	1.0	32.44	0	0	0	0	0	
		30	1.0	32.68	0	0	0	0	0	
虻田	3/9	0	3.1	30.25	0	0	0	20	0	
噴火湾東部		5	2.6	32.54	0	0	0	30	0	
8.5		10	2.5	32.55	0	0	0	30	0	
		15	2.5	32.58	0	0	0	10	0	
		20	2.5	32.58	0	0	0	10	0	
		25	2.5	32.61	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

3月上旬の水温は、太平洋中部では1.0~1.2°C、噴火湾東部では2.5~3.1°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK04)

(函館水試担当地区)

2015年3月9日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
知内	3/3	0	7.3	33.63	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	7.7	33.90	0	0	0	0	0	
14.0		20	7.9	34.00	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

3月上旬の水温は、津軽海峡では7.3~7.9°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

**貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)**  
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)  
 2015年2月18日  
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (10.0)	2/17	0	-0.8	31.92	0	0	0	0
		5	-0.8	31.91	0	0	0	0
		10	-0.8	31.91	0	0	10	0
		15	-0.8	31.91	0	0	0	0

\*At = *Alexandrium tamarense*アレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコネオラックス・タマレンシス

Aa = *Alexandrium affine*アレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=*Dinophysis fortii* ディノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* ディノフィシス・アキュミナータ

Dro=*Dinophysis rotundata* ディノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* ディノフィシス・インファンディブラ

Dm=*Dinophysis mitra* ディノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* ディノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* ディノフィシス ルジエイ

**コメント**

2月中旬の根室海峡(標津)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、ディノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)



# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK03)

(函館水試担当地区)

2015年2月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 8.0	2/12	0	1.2	32.49	0	0	0	20	0	
		10	1.0	32.52	0	0	0	40	0	
		20	1.1	32.57	0	0	0	20	0	
		30	1.4	32.72	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 18.0	2/4	0	5.4	33.70	0	0	0	0	0	
		5	5.4	33.71	0	0	0	0	0	
		10	5.4	33.71	0	0	0	0	0	
		15	5.4	33.72	0	0	0	0	0	
		20	5.5	33.77	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 9.0	2/12	0	4.1	33.42	0	0	0	10	0	
		5	4.0	33.52	0	0	0	0	0	
		10	4.0	33.53	0	0	0	0	0	
		15	4.1	33.54	0	0	0	0	0	
		20	4.1	33.54	0	0	0	0	0	
		25	4.3	33.58	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 14.0	2/16	0	6.7	33.85	0	0	0	0	0	
		10	6.5	33.84	0	0	0	20	0	
		20	6.5	33.84	0	0	0	10	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。噴火湾東部には出現していません。

2月上旬の水温は、噴火湾東部では5.4~5.5°Cです。

2月中旬の水温は、太平洋中部では1.0~1.4°C、噴火湾西部では4.0~4.4°C、津軽海峡では6.5~6.7°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年2月9日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
厚岸 (4.0)	2/6	0	-0.9	31.97	0	0	0	0
		5	-0.7	32.06	0	0	0	0
		10	-0.1	32.23	0	0	10	0
		13	-0.1	32.22	0	0	0	0

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

2月上旬の太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK02)

(函館水試担当地区)

2015年2月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 10.0	1/19	0	3.0	32.83	0	0	0	10	0	
		10	3.0	32.86	0	0	0	20	0	
		20	3.1	32.87	0	0	0	20	0	
		30	3.3	32.98	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 13.0	1/19	0	5.7	33.77	0	0	0	0	0	
		5	5.8	33.77	0	0	0	0	0	
		10	5.8	33.77	0	0	0	0	0	
		15	5.7	33.78	0	0	0	0	0	
		20	5.6	33.79	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 9.5	1/25	0	4.5	33.79	0	0	0	0	0	
		5	4.5	33.79	0	0	0	0	0	
		10	4.5	33.78	0	0	0	0	0	
		15	4.4	33.78	0	0	0	0	0	
		20	4.4	33.78	0	0	0	0	0	
		25	4.4	33.77	0	0	0	0	0	
30	4.4	33.78	0	0	0	0	0			

\*D.fortii=Dinophysis fortii ティノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos ティノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra ティノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata ティノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula ティノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei ティノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、太平洋中部に出現しています。噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

1月中旬の水温は、太平洋中部では3.0~3.3°C、噴火湾東部では5.6~5.8°Cです。

1月下旬の水温は、噴火湾西部では4.4~4.5°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK01)

(函館水試担当地区)

2015年1月20日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
知内	1/19	0	8.8	33.97	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	8.9	34.01	0	0	0	0	0	
16.0		20	8.9	34.02	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt=*Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、津軽海峡には出現していません。

1月中旬の水温は、津軽海峡では8.8~8.9°Cです。

(担当: 吉田秀嗣・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2015年1月16日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種*		
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L
標津 (10.0)	1/14	0	2.5	32.22	0	0	30	0
		5	2.4	32.23	0	0	10	0
		10	2.4	32.23	0	0	0	0
		15	2.4	32.23	0	0	0	0
厚岸 (3.5)	1/13	0	1.3	32.06	0	0	10	0
		5	1.3	32.16	0	0	0	0
		10	1.6	32.40	0	0	30	0
		13	1.6	32.40	0	0	10	0

\*At = Alexandrium tamarenseアレキサンドリウム・タマレンセ =旧名 プロトコニオラックス・タマレンシス

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df=Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

## コメント

1月中旬の根室海峡(標津)および太平洋東部(厚岸)海域では、麻痺性貝毒プランクトンAtは出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは、デイノフィシス・アキュミナータがわずかに出現しています。

(担当:海洋環境グループ 品田晃良、嶋田 宏)